

生涯学習社会における学校は、地域に支えられ、地域に貢献するという「地域に根ざした学校」としてとらえることが大切です。

そのためには、学校をより開かれた存在にするとともに、地域住民による多様なボランティア活動の場として充実させていく必要があります。

学校でボランティア活動をしてもらうと、学校に負担が増えると考えがちですが、学校支援ボランティアの活動は、学校にとって多くのよいことがあり、ボランティアや地域の人たちと協働することで、活気ある学校教育が可能になります。



子どもたちにとって・・・

- 地域の人々と子どもたちの活動や交流を繰り返すことで、子どもたちの社会性とコミュニケーション能力を育むことができます。
- 学校支援ボランティアの専門的な知識・体験により、子どもたちの学習意欲が喚起され、生きる力の育成につながります。
- ボランティアを通して、多様な価値観や文化に触れることができます。
- ボランティアと接することで、子どもたちがボランティア活動に関心を持ち自分もボランティア活動に参加するきっかけとなります。

先生たちにとって・・・

- 総合的な学習の時間など、地域学習の展開でアドバイスを受けたり、協力してもらえます。
- ボランティアの専門的な知識や技能を生かして、豊かな授業をつくることができます。
- 学校や子どもの実態を地域の人たちに理解してもらえ、学校をより開かれたものにします。その結果、学校に全てを任せるのではなく、地域の問題としてともに考え、行動してもらえます。
- 先生とは異なる視点から新しい学習の課題を見つけたり、提案したりするなど、学校にとって新たな発想や工夫をもたらします。
- 学校支援ボランティア活動を通じて、学校への理解・共感を深めることができ、学校と地域の人々を強く結びつけます。